

# 新 しん 緑 みどり ニュース



## 病院の理念

確かな医療技術  
やさしい対応  
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん  
**医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院**  
 〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7  
 TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271  
 発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216(直通)

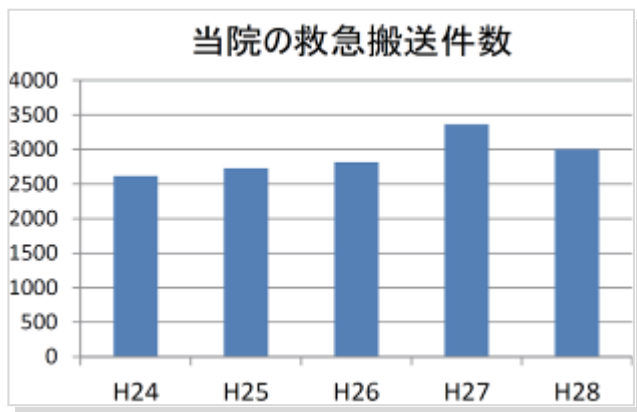


## 地域救急医療への貢献をめざして ～救急隊と連携強化の取り組み～



当院は「横浜市2次救急拠点病院B」\*に指定されており、緑区のみならず旭区、青葉区、都筑区、瀬谷区などから救急車を受け入れています。診療科別にみると脳神経外科が一番多く、次いで内科、整形外科となります。

脳神経センターでは脳梗塞の超急性期カテーテル治療（血栓回収療法）を24時間365日実施していることから、脳卒中や頭部外傷など脳外科疾患は大和市、相模原市、町田市などからも数多くの救急搬送を受け入れております。



全国的に救急車の出場件数は増加しており、横浜市も平成28年の出場件数・搬送件数は過去最高とのこと。件数が増加する一方で、様々な要因による搬送時間の延長も問題となっています。少しでも早く傷病者が病院まで搬送され治療を受けることができるようにするには、救急隊と病院のスムーズな連携が重要です。そこで当院では、救急

隊との連携強化を図る取り組みの一つとして、緑消防署警防課救急担当課長久嶋 秀文様を講師にお招きし、救急勉強会を開催しました。



当日は、医療職はもちろん、医療相談員や事務職員など様々な職種の職員が多数参加しました。緑区の救急出場状況や当院への搬送状況、傷病者を救急車内へ収容してからの対応や病院選定について等わかりやすく説明していただき、地域の救急の現状と救急隊の活動を知ることができました。病院職員が救急隊の活動を理解することは、よりスムーズな救急車の受入れにつながると考えております。

今後も地域の救急病院として役割を果たしていけるよう、病院が一体となって救急医療に取り組むとともに、救急隊と更なる協力・連携を図ってまいります。

\*横浜市2次救急拠点病院 B

24時間365日、内科・外科で入院治療や手術が必要な中等症以下の救急患者の受入体制を確保している病院（横浜市内13病院：平成29年4月1日現在）

《地域医療連携室長／副看護部長 野田 真由美》



## 防犯功労団体として表彰を受けました 事務長 外岡 至郎

9月8日（金）神奈川県立音楽堂にて、公益社団法人神奈川県防犯協会連合会（会長：黒岩知事）と神奈川県警察の共催による「第48回地域安全県民のつどい」が開催され、横浜新緑総合病院は、防犯功労団体として表彰を受けました。このつどいは、永年にわたり献身的・積極的に各種防犯活動を推進し、犯罪のない安全・安心なまちづくりに貢献した個人、団体を称えるために開催されています。

当院では外来フロアでの「振り込め詐欺防止」案内DVD上映をはじめ、緑警察署への協力をさせていただくことで地域防犯に取り組んでおります。今後も、知事が話された「県民一人ひとりの犯罪防止への意識、自主防犯活動の実践と行動が地域の安全・安心に繋がる」を心掛けながら、医療面ではもちろん、地域の皆さまの安全・安心に努めてまいります。





## チーム医療 | 糖尿病チーム

私たち糖尿病チームは、糖尿病専門医と看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士が連携して、糖尿病患者さまの様々な療養支援を行っています。チームスタッフのほとんどが日本糖尿病療養指導士の資格を有する糖尿病の専門チームです。

病気や治療のこと、生活上の注意点や工夫などを患者さまやご家族に知っていただくために、患者さま一人ひとりへの個別支援（栄養相談・看護外来等）、糖尿病教室の実施、地域の方へ糖尿病に関する情報発信のための講演会（みんなの健康講座糖尿病シリーズ）を開催しております。また、糖尿病患者会「うさぎ会」の活動を支援しており、一例として、料理教室では食事療法の知識を深めてもらう機会を作っています。

糖尿病は悪化させないように上手に付き合っていく必要があります。血糖値を良い状態に保つには、医師による治療とともに、一日三食バランスの取れた食事、適度な運動、規則正しい生活が大切です。しかし、仕事や育児・介護など様々な理由で、思うような生活改善ができないことも多いかもしれません。そのような時は、ぜひ私たちにご相談ください。どうしたら良いのかを患者さんやご家族と一緒に考え、糖尿病があっても自分らしく元気にお過ごしいただけるよう、チームで協力してサポートいたします。



糖尿病チーム



糖尿病教室

糖尿病委員会 看護科長 竹崎 里奈

## 「ふれあいバザー」開催報告

9月10日（日）当院駐車場で「第12回 ふれあいバザー」を開催いたしました。例年より多くの皆様にお越しいただき、バザー商品、協賛いただいた横浜みどりライオンズクラブの新鮮な野菜や和菓子をはじめ、食事や飲み物も全て売り切れとなる盛況ぶりでした。お笑いコンビ「NOモーション。」のものまねでは会場が笑い声に包まれました。



バザー収益金と横浜みどりライオンズクラブの協賛金より、災害被災地および横浜市緑区社会福祉協議会へ寄付をさせていただきます。今年も地域の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



## シリーズ健康豆知識 \*鉄② 上手な摂り方

鉄には吸収しにくい鉄や吸収を阻害してしまう食品があります。吸収率を高めるポイントがあるので、貧血などで鉄を気にして摂っている方はチェックしてみてください。

●**吸収しにくい鉄** **非ヘム鉄**といって青菜や大豆製品など主に植物性の食品に含まれます。吸収率が5%程度と低めですが、肉類・ビタミンC(野菜・果物)と摂ると吸収率がアップします。

●**吸収を阻害する食品** お茶・コーヒー・紅茶に含まれるタンニンが、鉄の吸収を阻害してしまうため、食事時ではなく食間に飲むことをオススメします。



栄養科 管理栄養士 大平 真衣

平成29年 みんなの健康講座

主催：横浜新緑総合病院

※参加費無料

平成29年10月7日(土) 午前10時～11時30分 みんなの健康講座 in みどりアートパーク開催

第1部 「こわい重症脳梗塞への一手！」 脳神経センター 脳神経外科部長 小菊 実

第2部 「負担の少ない大腸がん治療」 消化器センター長 外科・消化器科部長 齊藤 修治

平成29年10月21日(土) シリーズ糖尿病 第22回「今日から実践！！運動で防ごう生活習慣病」

会場 十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分）

時間 1時30分～2時30分 お問い合わせ 地域医療連携室 045-984-6216（直）045-984-2400（代）

当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>

QRコード→

